

## 専門医生涯教育委員会

委員長：楠本 健司

委員：秋元 正宇、阿部 清秀、飯田 直成、石田 有宏、岡 博昭、  
小林 一夫、内藤 素子、中東 和彦、横尾 和久

開催年月日：2012年2月5日（更新審査委員会）

その他、適宜メール委員会

- 主な議題：1. 更新に対する東日本大震災被災の取り扱いについての広報  
2. 専門医資格更新審査  
3. 委員会承認の学術集会・研究会等の更新審査  
4. 学術集会・研究会等の新規登録申請の審査  
5. 今後の問題点について

活動の概要：1. 更新に対する東日本大震災被災の取り扱いについての広報  
専門医資格更新と学会・研修会等生涯教育点数更新における東日本大震災被災の取り扱いについて学会誌に広報を掲載した。

### 2. 専門医資格更新審査

i) 専門医資格更新審査対象者は273名で、更新を承認された者は199名（罹災証明提出1名、診療実績未提出4名（全員再提出）、書類不備により返却し追加書類などの提出により更新を認めたもの4名、追加書類など提出にても条件を満たさず更新を認めなかったもの1名、留保3名、更新辞退4名、未提出62名であった。

ii) 資格更新点数免除者の該当は14名で、更新を承認3名、未提出10名、更新辞退1名であった。

iii) 留保願いは3名で、いずれも海外留学のため1年の留保が認められた。

iv) 締め切り後の書類提出1名、参加章を台紙に貼付せず提出2名、実績記録で論文の「掲載誌名、巻数、ページ数」の明記がない2名、誤字が多い1名、「総会・学術集会または基礎学術集会」の参加章の必要枚数が不足1名（演題発表を行い参加章未提出分があったため、今回は参加を認めた）、以上合計7名に警告文を送付した。

### 3. 委員会承認の学術集会・研究会等の更新審査

更新対象の関連学会・研究会等50件につき、3年分のプログラムを審査した。

i) 「日本手外科学会秋期教育研修会」「日本手外科学会春期教育研修会」は関連学会研修会(4点)として認め、今後は更新の必要はないこととした。

ii) 以下の4つ関連学会・研究会は、3年間の平均演題数10題を満たしていないため、次回更新時に平均10題を満たすよう警告文を送付した。

日本熱傷学会 中国・四国地方会

日本熱傷学会 東北地方会

日本熱傷学会 北陸地方会

日本熱傷学会 甲信地方会

- iii) 以下の4つ関連学会・研究会は、3年間の平均演題数10題を満たしていないため、次回更新時に平均10題を満たさない場合は、3点→1点へ減点することを警告文として送付した。

北陸手外科研究会

愛媛形成外科研修会

静岡手の外科・マイクロサージャリー研究会

大阪マイクロサージャリー研究会

- iv) 以下の3つの関連学会・研究会は、3年間の平均演題数10題を満たさず、前回更新時も満たしていなかったため、3点→1点へ減点した。

形成外科臨床会

東海マイクロサージャリー研究会

京都形成外科医会

#### 4. 学術集会・研究会等の新規登録申請の審査

関連学会・研究会の新規登録申請が6件あり、以下の点数で承認した。

第12回東洋美容外科学会

⇒出席8点/演題発表筆頭者6点/共同2人まで2点

第4回世界創傷治癒学会連合学会

⇒出席8点/演題発表筆頭者6点/共同2人まで2点

西新宿形成外科フォーラム

⇒出席3点

AOCMF プリンシプルコース

⇒出席4点

AOCMF スタータワークショップ

⇒出席3点

P R P (多血小板血漿)療法研究会

⇒出席4点/演題発表筆頭者3点/共同2人まで1点

\* 「第4回世界創傷治癒学会連合学会」は、非継続として申請があったが、継続希望であれば、連絡をもらうよう通知することとした。

#### 5. 今後の問題点について

①申請者の点数の誤認が多く、該当する関連学会や研究会などの生涯教育点数がいつの時点から認められているか、またいつから点数が変更になったか、などが現状の手引ではわかりづらいため、次回より「出席点数」「筆頭著者」「共著者」「承認時期」が分かる一覧表を提示することになった。

②各種様式上の年表記が、西暦と年号とが混在しており、確認する上で支障をきたすため、今後西暦表記で統一することになった。

③生涯教育基準点数に「支部学術集会(8点)」と「地方会(6点)」があり、地域により開催回数に差があるため、不公平感があるのでは

ないかという意見がでた。